

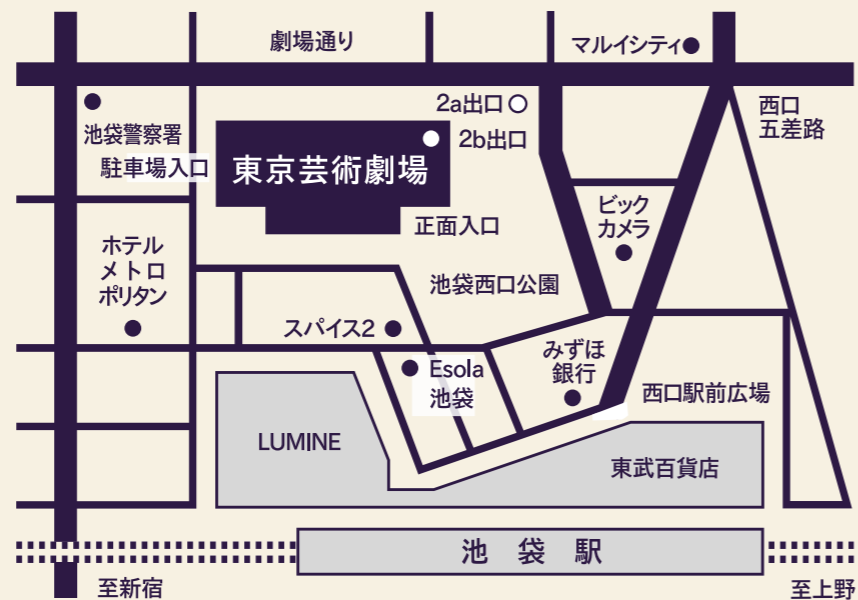
会場 東京芸術劇場  
 ギャラリー2、シンフォニースペース(5階)

# 東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1  
 TEL: 03-5391-2111

<アクセス> JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。

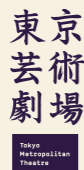


- ▶ 企画・演出 ◀  
アサダワタル
- ▶ 空間構成 ◀  
牧野宏一  
(MNoKa Architects代表)
- ▶ 写真 ◀  
たかはしじゅんいち
- ▶ 調査・記録 ◀  
アサダワタル  
鈴木絵美里  
米津いつか
- ▶ マネジメント ◀  
米津いつか

▶ 主催 ◀  
東京オール・ブリュットサポートセンターRights  
（社会福祉法人愛成会）  
 厚生労働省令和元年度障害者芸術文化活動普及支援事業 南関東・甲信ブロック 広域センター



▶ 共催 ◀  
公益財団法人東京都歴史文化財団  
東京芸術劇場



▶ 協力 ◀  
埼玉県障害者芸術文化活動支援センター アートセンター集  
 （社会福祉法人みぬま福祉会／埼玉県）、YAN山梨オール・ブリュットネットワークセンター（社会福祉法人八ヶ岳名水会／山梨県）、アーツサガ東京（社会福祉法人トット基金／東京都）、千葉県障害者芸術文化活動支援センター HONGERA（オンゲラ）！（特定非営利活動法人いちかわ市民文化ネットワーク／千葉県）、ART(s)さいほく（社会福祉法人昇／埼玉県）、信州ザワメキアート展実行委員会 関孝之、大谷典子（長野県）、特定非営利活動法人リベルテ（長野県）、関根涼子（山梨県）、HIKARI（神奈川県）



全プログラム参加費 **無料**  
 （トクバン! は定員各50名/予約者優先）

### トクバン! へのご予約

電話、ファックス、Eメールにて、下記お申込み先に「まなざしラジオ!! in 芸劇トクバン!

①1月11日開催分/②1月13日開催分/③両日参加希望」と明記のうえ、下記の(1)から(5)をご連絡ください。

- (1)代表者氏名 (2)所属 (3)参加人数 (4)電話番号 (5)メールアドレス

※お預かりする個人情報は厳格に管理し、法令で許容されている場合など正当な理由がある場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。

※ご来場の際にお手伝いが必要な場合は、お申込み時にお伝えただくか、お問合せ先にお気軽にご相談ください。受付では筆談対応いたします。

### お申込み・お問合せ

東京オール・ブリュットサポートセンターRights  
（担当：松山）

電話：03-5942-7259  
 ファックス：03-3387-0820  
 Eメール：kikaku@aisei.or.jp

ホームページ・Facebook -こちらからもお申込みいただけます-

<https://rights-tokyo.com/>

@rights.aisei

# 障害のある人の「表現」と、 寄り添う人の「声」を集めた 5日間限定の ラジオスタジオが出現!

in GEIGEKI

manazashi radio  
 会場 東京芸術劇場  
東京都豊島区西池袋1-8-1  
 ギャラリー2、シンフォニースペース(5階)

厚生労働省 令和元年度障害者芸術文化活動普及支援事業 南関東・甲信ブロック 広域センタープログラム  
**まなざしラジオ!!**  
 in 芸劇トクバン!

メインスタジオ  
 -展示やパフォーマンス、トークなどが交わるプログラム-  
 2020年 1月11日(土)-1月15日(水)  
 10:00-19:00 / ギャラリー2(5階)

トクバン!  
 -障害者の表現に寄り添うまなざしについて語り合います-  
 ① どちらかと言えば舞台寄りなまなざし編  
 1月11日(土) 13:30-18:00 / シンフォニースペース(5階)  
 ② どちらかと言えば美術寄りなまなざし編  
 1月13日(月・祝) 13:30-18:00 / シンフォニースペース(5階)

全プログラム参加費  
**無料**

(トクバン! は定員各50名/予約者優先)



# まなざしラジオ!! in 芸楽

全国各地で行われている障害のある人たちの芸術文化活動。ときに絵画や立体の「美術作品」として展示されたり、ときに演劇やダンスといった「舞台作品」として発表されたり。その一方で、「カタチ」になる過程をつぶさに見れば、すでに彼ら彼女らがその感性をジャンルにとらわれず「表現」している、そんな豊かな日常の存在に気がかされます。大切なのは、障害者／健全者という括りを超えて、「さまざまなところに表現のたねは落ちていく」という、「まなざし」を持てるかどうか。

東京アール・ブリュットサポートセンターRightsは、様々な団体にご協力いただきながら、南関東・甲信エリアで活動する障害のある人たちの創作現場をリサーチしてきました。本企画「まなざしラジオ!! in 芸楽」では、埼玉、東京、神奈川、山梨、長野で活動する7組の「表現」、ならびに彼ら彼女らに寄り添う支援者の「声」に焦点をあてた、5日間限定の「ラジオスタジオ」が出現します。彼ら彼女らの表現は、生活環境と密接に結びついているため、時として展示という形式のみでは伝えきれません。そこで、メインスタジオ(ギャラリー2)では、カタチを伴う表現(作品)の展示と合わせて、創作風景や生活空間の記録写真、並びに支援者たちが語った言葉を「ラジオ」という形式でお届けします。展覧会ともパフォーマンスとも言い表せないシチュエーションの中で、来場者の皆さまが普段感じている日常に対する「まなざし」もぜひ「声」にしてみてください。

また1月11日(土)と13日(月・祝)は同フロア別会場(シンフォニースペース)にて、千葉や静岡からもゲストを招いた「トクバン!」を開催。障害のある人たちとまなざし溢れる場づくりを行ってきた先人たちや、コミュニケーションの専門家、文化と福祉を結ぶコーディネーターなどがゲストとして出演。「どちらかと言えば舞台寄りな話」と「どちらかと言えば美術寄りな話」として、多様な「まなざし」を交換し合う場を開きます。

ぜひ会場に足をお運びいただき、今後の「障害福祉×芸術文化」と、皆さま一人ひとりの「日常」のなかに息づく表現の可能性を、ぜひ発見してください。

※収録した内容は、後日ホームページにて配信します。

# manazashi radio in GEIGEKI

## 「メインスタジオ」表現者 (50音順) ギャラリー2(5階) —展示やパフォーマンス、トークなどが交わるプログラム—

写真(カプカプーズを除く):たかはしじゅんいち

### AIKA (特定非営利活動法人リベルテ/長野)

AIKAさんは、詩人である。題材となるのは、仕事や生活における努力、ほのかに抱く恋心、そして、彼女の目指すべき「OL」について。OLとはオフィスレディかと思いきや、「大きなLOVE」という説も。彼女のまっすぐな言葉は、特定のスタッフに向けて、時に歌にまで昇華される。しかし、その「歌」がどんなものか、ほかのスタッフには告げられない。AIKAさんは言う。「OLの役割は、人を勇気付けられる言葉を、その人にあげること」。



※1月12日(日)ご本人によるポエム創作・リーディング開催(詳細は右ページ上へ)

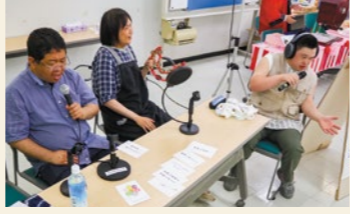
### 勝山直斗 (社会福祉法人久美愛園 久美学園/埼玉)

さいたま市緑区の久美学園で暮らす13歳の勝山直斗さんは、「壁画」を浮かび上がらせる。普段から絵を描くのが好きな勝山さんは、たまたま手元に道具(鉛筆や画用紙)がなかったある日の晩から、唾液を指につけゴソゴソとゆくり壁紙を剥がすという「創作」を開始。それはとても優しい模様で、壁紙の層によって色合いも豊かに。温かい気持ちと新鮮な驚きが同時にやってくるこの表現を、何かしらの形で留めたいと願うスタッフの存在とともに触れる。



### カプカプーズ (NPO法人カプカブ/神奈川)

横浜市旭区ひかりが丘団地の一角にある喫茶カプカブでは、メンバー(愛称:カプカプーズ)とアーティストによるワークショップが展開されている。そのひとつ「カプカブラジオ」では、カプカプーズ一人ひとりが番組コーナーを制作。喫茶常連客からリクエストソングをもらったり、アイドルを研究したり、仮装したり、テーマソングを歌ったり。ラジオという表現を通じて、個性が滲み出る風景を、会場でも実演する。



※メインスタジオでの展示はありません。1月14日(火)・15日(水)にカプカブラジオ開催(詳細は右ページ上へ)

### ぎんが (鹿島開発株式会社 生活介護事業所 ひまわりばたけ/東京)

ぎんがさんは、オリジナルの「文字列」を生み出す。数学の教科書や妖怪図鑑、カラオケ集、また身の回りにあるチラシなどから言葉を選び出し、組み合わせて描き出す。さらにはその紙面がハサミで切り刻まれ、別の紙面に貼られ、コラージュと化していく。より複雑な文字列が奏でるリズムは不思議と心地よい。身の回りにあるものを何でも「遊びの道具」として使いこなす、ぎんがさんの行為とその行為にバリエーションをもたらす環境のあり方に迫る。



### 関根悠一郎 (山梨)

幼い頃から絵を描くことも、オブジェをつくることも、庭を作り野菜を育てることも「当たり前」にやってきたという、現在20歳の関根悠一郎さん。多彩な作風のなかでも「舟」というモチーフが扱われることは多く、10代から数年かけて、実際に自分が乗れる舟の制作を開始。ときに病に苦しみ、ときに生きのびるための道を根っこから問いなおし、「つくりかたからつくる」ことにこだわり続ける関根さんと彼を支え続ける家族の物語に迫る。



### 西野克 (社会福祉法人みぬま福祉会 工房集/埼玉)

西野克さんは、常に何かを探しているようだ。全盲の彼は、施設を歩き回りながら、何かを触り、かじり、耳や目に入れること、を繰り返す。靴の底、古着、自身のトレーナーのタグなど。その行為は身の回りのものの「確認」であると同時に、その意図だけでは説明できないのではないかと周囲に思わせるほど、「静かな圧倒感」に満ちている。行為の痕跡としての物品を大切に保管するスタッフのまなざしも含めて、この「表現」について考える。



### 森田博康 (社会福祉法人からし種の会 緑の牧場学園/長野)

長野県佐久市の緑の牧場学園で暮らす森田博康さんは、これまで大量の服を破いてきた。縫い目に狙いを定め、スタッフが見ぬ間にいつのまにか見事に服を裂いていく。破衣行為は福祉現場では問題行動とされることが多いが、見方を変えればその行為を通じて本人にとって何か大切なことを伝えている「表現」と言えるかもしれない。県内の公募展出展を通じて、その行為に新たなまなざしが向けられた森田さんの「その後の変化」を追う。



## AIKAさんとカプカプーズが登場! ※開催時間に変更が生じる可能性があります。

### AIKAさんによる ポエム創作・リーディング

1月12日(日) 13:00~15:00(予定)  
メインスタジオ/ギャラリー2(5階)

AIKAさんが会場でポエムの新作を作り、朗読します。場合によっては曲に合わせて歌うかも! 出来上がったポエムは参加者にプレゼントする予定です。ゆっくりじっくり取り組む姿にお立会いください。

### カプカプーズによる カプカブラジオ

1月14日(火)-15日(水) ともに11:00~14:00(予定)  
メインスタジオ/ギャラリー2(5階)

カプカブでアサダワタルと隔月で行われているワークショップ「カプカブラジオ」が東京芸術劇場出張します。メンバーの個性がぎゅっと詰まった珠玉の番組構成でお届け。皆さまからのリクエストソングも受け付けます。

## 「トクバン!」 1月11日(土)・1月13日(月・祝) シンフォニースペース(5階) —障害者の表現に寄り添うまなざしについて語り合います—

ふたつの「トクバン!」では、南関東・甲信エリアをはじめとした、「まなざし」に溢れる福祉現場を営んでいる方々が登場。障害のある人たちの、美術や舞台芸術といったジャンルにおさまりきれない様々な表現を、他者や地域とつながるための手立てとしてじっくり取り組んできた経験から学びます。さらに、障害のある人たちの芸術文化活動を普及支援するための「仕組みづくり」についても、アートマネジメントの専門家を交えてざっくばらんに語り合い、「まなざし」を持ってアクションに取り組む人たちがつながる機会をつくります。

※両日とも、手話通訳とUDトークによるリアルタイム字幕が付きまます。

### 1 どちらかと言えば 舞台寄りなまなざし編

1月11日(土) 13:30~18:00  
シンフォニースペース(5階)

■ 13:30-13:45 オープニングラジオ

■ 13:45-15:05 セッション1

現場での「まなざし」を知ろう  
—カプカブや「スタ☆タン!!」の実践から—

ゲスト:鈴木励滋  
(NPO法人カプカブ 生活介護事業所「カプカブ」所長/演劇ライター)

佐藤啓太  
(認定NPO法人クリエイティブサポートレッツ 障害福祉サービス事業所  
アルス・ノヴァ 生活介護主任 / 「〜雑多音楽の祭典〜スタ☆タン!!」  
プロデューサー)

(休憩10分)

■ 15:15-16:15 セッション2

「まなざし」をつないでいこう  
—千葉と神奈川の中間支援から—

ゲスト:吉原 廣  
(千葉県障害者芸術文化活動支援センターHONGERA(オンゲラ)!  
センター長/創作・演出家)

小川智紀  
(認定NPO法人STスポット横浜 理事長)

(休憩10分)

■ 16:25-17:45 セッション3

ラジオ座談会  
—みんなの「まなざし」を分かち合い、それらを持続させるための「仕組み」について語り合おう—

■ 17:45-18:00 クロージングラジオ

パーソナリティ:アサダワタル (文化活動家/東京アール・ブリュットサポートセンターRightsディレクター)  
会場におけるバリアフリーコーディネイト:Palabra株式会社

### 2 どちらかと言えば 美術寄りなまなざし編

1月13日(月・祝) 13:30~18:00  
シンフォニースペース(5階)

■ 13:30-13:45 オープニングラジオ

■ 13:45-15:05 セッション1

現場での「まなざし」を知ろう  
—ハーモニーの実践やメインスタジオの表現から見たこと—

ゲスト:新澤克憲  
(就労継続支援B型事業所ハーモニー 施設長)

細馬宏通  
(人間行動学者/早稲田大学文化構想学部 教授)

(休憩10分)

■ 15:15-16:15 セッション2

「まなざし」をつないでいこう  
—埼玉と静岡の中間支援から—

ゲスト:宮本恵美  
(埼玉県障害者芸術文化活動支援センター アートセンター集)

鈴木一郎太  
(静岡県文化プログラムコーディネーター/株式会社大小とレフ 取締役)

(休憩10分)

■ 16:25-17:45 セッション3

ラジオ座談会  
—みんなの「まなざし」を分かち合い、それらを持続させるための「仕組み」について語り合おう—

■ 17:45-18:00 クロージングラジオ